

LION news

2017/9/12 号

第 1373 例会

第 1372 会 例会

8月22日(火)「金沢ニューグランドホテル」にて通常例会が開催されました。

若林会長の挨拶は、「晴れて当たり前の関東では22日間雨が続き、逆転したかのようにこちらの地方では暑い日が続いております。本当に金沢は自然災害が少なく、住みよい街であります。

先日、墓参りに京都へ行ってきました。お盆は先祖を向かい入れ、そして送る行事であります。また彼岸は先祖に感謝し、自分の徳を積ましてもらって墓参りであることをご住職から聞いてきました。これから先いろいろなアクティビティがあり、各委員長、委員の方々のご苦勞がありますが、皆さんご協力ください」と述べられました。

メンバースピーチでは須田晃太郎.Lが【「眼の成長期は8才くらいまで」子供の視力保護は、育児のひとつ】の演題で講話しました。

経営理念の中に「ビジョンケアを通じて地域社会に貢献すること」があり、お客様の視力を総合的に世話することという意味で使っています。

5、6年前より子供の眼の成長についての啓蒙活動をしていて、情報の80%は眼から入力し、視覚機能の中には、視力、眼球運動、両目のチームワーク、調節機能があります。それぞれ効率よく機能しなくてはならないということです。

視力の発育は生後3か月では0.01~0.02、2才0.5~0.6、6~8才1.0~1.2で完成し、1歳半が視覚の感受性のピークであります。弱視の中に斜視、屈折異常、不同視などがあり、子供の眼の異常を見つけるには、目

を細める、片目で見ると、目をこする、横目で見ると、目をぱちぱちさせる、首をかたげる、物を近くで見る 反応が鈍い、よく転ぶ、ボール遊びが苦手など子供のサインを見逃さず、早期発見し適切な対処してほしい。また、3歳児検診には視力検査があり、必ず受診してほしいと述べ、スピーチを終えました。



細川テールツイスターからは、前回、地球の大事さ、奇跡を話しましたが、今回は生物の話をしていきます。地球上の500万種のうち動物100万種、植物30万種、その他は菌類、バクテリア類です。動物で一番多いのは陸上ではアリ、哺乳類5000種の内では、ねずみが多く、人間は73億、犬猫70億です。

今 人間が頂点にいますが、地球上で生かされていることを感じて、生きてほしいと例会をしめました。



記事：永野琢也.L